

滋賀県レイカディア大学同窓会 日野分会だより

滋賀県レイカディア大学同窓会
中部支部日野分会だより
発行日：2026年4月1日
発行者：滋賀県レイカディア大学
同窓会中部支部日野分会
分会長：布施 太一郎
TEL：0748-52-4357

・・なないろ・・

☆ 日野ひな祭り紀行

分会長 布施 太一郎

「一度、日野のひなまつり紀行に行ってみよう」と思っていたところからともなく聞かされ、今年度中部支部の活動として計画を立てました。

案内書を配布した時点では、どれほどの方が参加してくださるのか不安もありましたが、在校生の中にも興味を持つ方がいるかもしれないと思い、草津・彦根の両キャンパスにも足を運び、中部支部の皆さんへ案内書を届けました。

申し込み締切日の2月10日、各分会からの参加者の報告を心待ちにしていたのを覚えています。

準備期間には、日野観光協会へのガイド依

頼、日野の伝統料理を継承する会への昼食予約、そして福永保さんに同行いただいた



てのコース下見など、当日に向けて着々と段取りを整えました。

当日、まちかど感応館前には38名が集合。ガイドさんの案内で二班に分かれ、いよいよ「お雛さまとの出会い散策」が始まります。

全国的にも珍しい「棧敷窓」や「格子」越しに、各ご家庭に代々伝わるお雛さまが通りから見えるように飾られており、日野ならではの風情が漂います。

江戸時代の享保雛や、これまで目にしたことのないお雛さまとの出会いは、まさに「お得感満載」の新しい発見でした。

また、一間いっばいに折り紙の傘を展示されているお宅もあり、「日野の皆さんのおもてなしの心」がひびくと伝わってきました。

日野商人館では、近隣にお住まいの竹村ウメさんが10年以上続けておられる手まり300点の展示が会場を彩り、さらに長さ12mのひな壇にずらりと並びお雛さまの光景は圧巻でした。江戸時代、行商から身を起した日野商人たちの故郷への思いが、静かに胸に響きます。

その後は、清水町に残る日野商人の屋敷、日野鉄砲の試し打ちの玉受け山、蒲生家の菩提寺・信楽院の高田敬輔による龍の太天井画、そして綿向神社への参拝へと足を運びました。

最後は旧山中正吉邸の座敷庭園を眺めながら、すべて手作りにこだわった「ひな祭り御前」をいただき、本日の最終章をゆつたりと楽しめました。帰り道には、江戸時代から170年続くお菓子屋さんで



家族へのお土産を購入し、心もお腹も満たされた幸せな一日となりました。

この2年を振り返って

第33期 生活科学学科 中野 他家子



中部支部副支部長としての任期2年間を無事終了いたしました。たくさんの素晴らしい出会いや経験をさせてください。

ただ、中身の濃い充実した期間でした。特に印象に残ったことを挙げてみます。

* 昨年の同窓会定期総会は、中部支部が担当でもあり、議事録作成時、一字一句聞き漏らさないようにと緊張していました。

* 広報委員として「つながり」発行に携わることができました。

* 地域活動事例発表会で、発表する機会をいただいたこと。

* びわ湖岸清掃・ヨシ刈りなどへの参加やお手伝いは、滋賀県民として、びわ湖を大切に思う心は、皆同じだと確信できたこと。

また、「ともに学ばん・遊ばん・生きなん」を強く感じた2年間でした。この機会を与えて下さった堀江前会長、布施支部長に感謝申し上げます。有難うございました。



葦刈りに精を出す

中部支部分会探訪 ④

レイカディア大学同窓会活
動と題して



能登川分会長 野村 毅一

レイカディア大学同窓会能登川分会は、役員になった当初は、80名以上おられました。現在は76名となり、令和8年度は74名と少なくなる一方で運営にも支障を来すところまで来ています。又、レイカディア大学に入学していただく方もついに47期生ゼロになりました。

そこで何とか市民の皆様にも「レイカディア大学」を広く知ってもらうために、能登川の冬の風物詩である「ライティングベル」での準備、撤収のボランティアにたくさん参加していただき（レイ大同窓会中部支部のピブスを着て）PRに努めています。

少し私事を書かせていただきます。令和3年にレイカディア大学卒業して、早くも5年目を迎えました。お陰様でよい仲間恵まれ、未だに毎月2回近江八幡市内の旧邸宅の中庭での剪定及びミーティング（コーヒータム）を行い次回予定の確認とその他気が付くことを話し合っています。

又、4ヶ月に1回のお楽しみ会（グラウンドゴルフ交流大会、食事会など）を実施しています。10月には、恒例の伊勢神宮道場での剪定及び伊勢神宮参拝を行っております。

レイカディア大学で教えてもらった先生の紹介で、伊吹山の麓にある「平核無柿」のオーナーになり、みんなで草刈り、肥料、摘果、摘蕾などをして収穫

できた柿を分配して干し柿、室に入れガヌ抜きをして渋を抜きます。非常に甘くておいしいです。今後もみんなの健康を考えながら続けていきたいと思っています。

仲間・健康・生きがいづくり!!

第43期 健康づくり学科 安藤 直紀



「ゴルフ愛好会「レイカディア彦根」は、28期〜47期の学生・卒業生が3ヶ月に1度ゴルフを通じて仲間づくりを楽しんでいます。

「ゴルフは全身運動であり、ラウンド中は平均10,000歩以上歩きます。スイング動作で体幹や下半身の筋肉が自然と鍛えられます。さらに広大な緑の中でプレーすることによりリフレッシュ効果が得られ、ストレス解消や精神の安定にもつながります。

体力や年齢に応じてペースを調整できるため、高齢になっても無理なく続けられるスポーツです。

ゴルフ愛好会の中で特に気の合った仲間で「呑兵衛会（どんべい

かい）＝ゴルフ

と酒好き」をつ

くり、機会があ

ればゴルフと

美味しいお酒

で、コミュニ

ケーションを



19番ホールも
また楽し!!

図っています。同伴者の性格や人間性を知ることができ、信頼関係を築きやすいのも魅力です。

編集後記

卯月八日はお釈迦様の誕生日、昔ほどではないにしても、各寺院では灌仏会が厳修されることでしょう。私たちの子供のころは、当り前の風物詩であり、楽しみに待ちわびた伝統の文化でした。

こんなのかな風景は二度と訪れることはないのでしょうか？

今はデジタル文明が世の中を席巻し、AIなるものが人の営みのほとんどを、代行するようになりました。戦争すらもボタン一つで勝利の方程式を一瞬に解き、実行してしまうと言われています。

人と人との触れ合いがなくなれば、人と生まれてくることの意味を、どこに求めればいいのか？

戸惑い続ける日々が続きます。

レイカディアは、「サードプレイス」としての意義が、いよいよ高まって来るでしょう!!

担当 第30期 地域文化 堀江 勇夫